

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	男女共同参画推進事業			事業番号	19-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	市民生活部	石田 康弘	人権・広聴相談課	山内 温子	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	5	暮らしの安心がひろがるまちづくり	
		施策展開の方向	9	一人ひとりが大切にされるまちをつくる	
		施策	19	人権・男女共同参画社会の推進	
予算事業名	男女共同参画推進事業費 男女共同参画計画策定事業費				
事務区分〔選択〕	<input type="radio"/> 自治事務 <input checked="" type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)		法令上の位置づけ	義務づけ規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成30年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律				
国・県の計画等	(国)第5次男女共同参画基本計画、(県)かながわ男女共同参画推進プラン(第4次)		計画期間	(国)令和3年度～令和7年度 (県)平成30年度～令和4年度	
関連個別計画	第2次伊勢原市男女共同参画プラン		計画期間	平成30年度～令和4年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	男性も女性も性別等に関わらず誰もが社会に参画し、多様な個人が尊重され、支え合う社会づくりが進められています。高齢化の進展に伴い、さまざまな分野で多様な人材が求められており、中でも女性の活躍が期待されています。そうした中、家庭における役割分担の見直しや、男性の働き方の見直しが求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	市民や事業者等に対し、男女共同参画の考え方を広く周知するため、男女共同参画プランに基づく各種啓発活動を実施します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民				
事業内容 (手段、手法など)	・男女共同参画プランを推進するとともに、同プランの進行管理を行います。 ・市民で組織する「伊勢原市男女共同参画推進委員会」と連携し、男女共同参画フォーラムを実施するとともに、情報誌等により男女共同参画に関する普及啓発を行います。				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	男女共同参画プランの推進・進行管理	プラン推進・進行管理	プラン推進・進行管理		
	男女共同参画推進委員会の運営支援	運営支援	運営支援		
男女共同参画の普及啓発	啓発活動	啓発活動			
目 標	【指標名】	【現状値】	令和3年度	令和4年度	
	男女共同参画フォーラム及び啓発講座等の参加者数	145人 (令和2年度)	145人	145人	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	第2次伊勢原市男女共同参画プランに基づき、男女共同参画の理解を深めるための啓発活動を継続して行います。また、市民で組織する伊勢原市男女共同参画推進委員会の意見も取り入れながら、事業の実施方法等を検討し啓発を継続していきます。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外			
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	有限会社パル音楽産業	
	<input type="checkbox"/> 補助金	補助先		
	<input type="checkbox"/> その他	具体的内容		
実施結果	項目	年度		
		令和3年度	令和4年度	
	男女共同参画プランの推進・進行管理	推進・進行管理	推進・進行管理・第3次プランの策定	
	男女共同参画推進委員会の運営支援	継続	継続	
	男女共同参画の普及啓発	継続	継続	
実施した取組の内容	伊勢原市男女共同参画推進委員会の運営を支援し、啓発誌の作成、講演会・講座などの啓発活動を実施しました。また、男女共同参画プランの進行管理を行いました。			
目標の達成状況	【指標名】	年度		
		【現状値】	令和3年度	令和4年度
	男女共同参画フォーラム及び啓発講座等の参加者数	145人 (令和2年度)	505人	373人

年度	令和3年度 実績				令和4年度 実績				
	事業費合計 (a)	626	千円		849	千円			
内訳	国県支出金 ①	275	千円		292	千円			
	地方債 ②	0	千円		0	千円			
	その他特財 ③	0	千円		0	千円			
	一般財源 (a)-①-②-③	351	千円		557	千円			
国県支出金の内容	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 補助率:10/10								
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
人件費	正規職員	0.5	人	4,090	千円	0.5	人	4,285	千円
	その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	人件費合計 (b)	0.5	人	4,090	千円	0.5	人	4,285	千円
トータルコスト (a)+(b)				4,716	千円			5,134	千円
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位	市民		単位	
		対象数	101,381	人	101,119	人			
	総事業費 / 対象数	47	円	51	円				

評 価 (Check)

<p>進捗状況 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)</p>	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>いせはら男女共同参画フォーラムを4年ぶりに会場開催するとともに、講演動画を市ホームページに一定期間公開する形式で実施し、多くの方に御視聴いただきました。</p>
<p>実施水準 〔選択・記入〕</p>	<p><input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業</p>	<p align="center">B</p>	<p>他都市の事業内容等</p>	<p>啓発講座などの開催回数については、近隣市と同水準で実施しています。</p>
<p>有効性 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)</p>	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>市民で組織する伊勢原市男女共同参画推進委員会と連携し、いせはら男女共同参画フォーラムや啓発誌(ききょうフォーラム通信)の作成・配布などを実施することで、多くの市民に男女共同参画の意識啓発を行うことができました。</p>
<p>効率性 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)</p>	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら新たな手法(会場開催とオンライン動画配信のハイブリッドで実施)により、男女共同参画の意識啓発を実施することができました。</p>

 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)

<p>所管部長による総評</p>	<p>地方創生臨時交付金を積極的に活用しながら、趣向を凝らした事業展開が図れました。今後は、新たに策定した第3次伊勢原市男女共同参画プランに基づき、市内で活動する多くの老若男女を巻き込みながら、男女が対等なパートナーとして社会参画できる環境づくりを構築するため、より効率的で波及効果のある啓発活動を行います。</p>
-------------------------	--